

香川県観音寺市「豊浜サービスエリア」においてスマートゴミ箱「SmaGO」の設置・運用開始

～NEXCO西日本の高速道路で初の導入 E11高松道 豊浜SA上下線に4月26日より～

株式会社フォーステック（所在：東京都千代田区 代表取締役：竹村 陽平）は、NEXCO西日本四国支社（高松市朝日町、支社長 布川 勝正）が運営する、E11高松自動車道（高松道）豊浜サービスエリア（SA）上下線にNEXCO西日本の高速道路では初めてとなるIoTスマートゴミ箱「SmaGO」（スマゴ）を令和6年4月26日から設置致します。

正面



ラッピングには、取組みにご賛同頂きご協賛頂いた株式会社タダノ（香川県高松市、代表取締役社長・CEO 氏家 俊明）のデザインが施されています。

背面



側面



● 豊浜サービスエリアへの「SmaGO」設置の背景

豊浜SAでは年間約50トンのゴミが発生しております。SmaGO導入によりゴミ回収の効率化が図られ、ゴミの増えるハイシーズンにおいても休憩施設の美化が保たれるなどの効果が期待されます。NEXCO西日本は、導入後、運用状況を確認し、きれいでクリーンな休憩施設の提供を目指すとともに、環境保全、持続可能な社会の実現への貢献を目指しています。

● スマートゴミ箱「SmaGO（スマゴ）」とは？

「SmaGO（スマゴ）」は、株式会社フォーステックが展開する、スマートゴミ箱を活用したソリューションです。当ゴミ箱は世界では60カ国以上で80,000台以上導入されており、各地でゴミ回収の効率化・最適化、街の美化を実現しています。

【SmaGOの特徴】

1. ソーラーで発電し蓄電



上部のソーラーパネルで発電し蓄電するため、電源が不要だけでなく、環境に負担をかけずに利用することが可能。

使用電力も1日5W以下と非常に少なく、2週間ほど悪天候が続いても問題なく作動します。

2. ゴミを自動で1/5に圧縮



ゴミが一定量貯まると、自動で圧縮機能が作動。およそ1/5に圧縮し、1台に600リットルのゴミを溜めることが可能なため、ゴミ箱が溢れることがなくなり、街の清潔さを保つことができます。

3. 通信機能でリアルタイムにゴミの量を管理・分析



内部のセンサーが溜まっているゴミの量を常に検知し、4G通信機能でクラウドに共有。PCやスマートフォンからリアルタイムに各ゴミ箱のゴミの量を確認することができます。ゴミ箱がいっぱいになるとメールアラートが飛ぶ機能や、ゴミが溜まりやすい場所や時間を分析する機能もあり効率的なゴミ回収を可能にします。

【株式会社フォーステックについて】

「Smart Action on the GO」（環境のための具体的なアクションを続けていく）をスローガンに、日本各地へのスマートゴミ箱「SmaGO（スマゴ）」の設置を通して、街と企業と人々が一体となった環境活動を提案しています。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社フォーステック

info@forcetec.jp

03-3453-7140

【会社概要】

社名 株式会社フォーステック代表取締役社長竹村 陽平

事業内容SmaGOの販売、設置に関するコンサルティング、

広告販売・掲載等に係る一切の業務

資本金100,000,000円

所在地〒100-0004 東京都千代田区大手町1-2-1 Otemachi Oneタワー6階

連絡先TEL : 03-3453-7140 Mail : info@forcetec.jp

加盟団体

- ・クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス
- ・一般社団法人SDGsデジタル社会推進機構
- ・一般社団法人 サイバースマートシティ創造協議会
- ・GREEN SEA 瀬戸内ひろしま・プラットフォーム

フォーステックのプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchlp/company_id/80115